

基金の活用や政令市平均なみの財政支援で引き下げを

静岡生活と健康を守る会の「国保料アンケート結果」から

医療を「中断している」割合は、40.6%にも

静岡生活と健康を守る会は、「国保料アンケート」を行い、国保に加入している101名から、回答を得ました。

国保料の支払ができていない人の中でも、4割の方が、治療を控えたり中断していることがわかりました。

「国保について感じていること」の欄には、「このままだと病気を我慢して手遅れになる…」「収入が安定していないし、体調が悪くても病院にはいけない」といった悲痛な記述が目立ちました。

負担能力をこえる国保料は、暮らしを圧迫させるだけでなく、いのちを脅かすことになりかねません。

国保料引き下げの財源はあります

●国保会計の基金―41億円

一人につき1万円の引き下げに必要な金額は約19億3千万円。基金の半分を使えば、引き下げはすぐにできます。

●財政支援

静岡市の財政支援額は、2012年度21億円。せめて政令市平均並みの財政支援をつづければ、政令市2番に高い国保料を、継続した引き下げが可能になります。

国保料が高くなっている根本原因は、国保会計への国庫負担金の削減にあります。1980年度は50%でしたが、2012年度には19%まで減らしています。国庫負担金をもとにもとせば、大幅な引き下げが実現できます。

署名の第1次集約は、11月末です。急いで署名を広げ、早めにお届けください。市内の医療機関への協力要請もはじめました。連休を活用し、大いに集めましょう。



署名到着数

1, 149人分

(9月8日現在)

国保料引下げ署名推進ニュース No.3

静岡市医療と福祉をよくする会 葵区田町5-90 電話 253-7275

清水・国保料を値下げさせる会 清水区青葉町9-11 電話351-2728